

# 県立学校入学者選抜WEB出願システム構築仕様書

令和6年5月

沖縄県教育庁

# 目次

1. 概要 .....	3
1.1 件名 .....	3
1.2 目的 .....	3
1.3 用語の定義 .....	3
1.4 業務スケジュール .....	4
1.5 業務の範囲 .....	4
1.6 業務内容・成果物 .....	5
1.7 その他留意事項 .....	6
2. システム機能要件 .....	7
2.1 機能要件 .....	7
2.2 機能一覧 .....	7
2.3 出力帳票・データ要件 .....	7
2.4 各サイト共通要件 .....	7
2.5 志願者サイト要件 .....	8
2.6 中学校サイト要件 .....	9
2.7 高等学校サイト要件 .....	9

2.8 県教委サイト要件 .....	10
2.9 ヘルプデスク業務 .....	11
2.10 テスト要件 .....	11
2.11 保守業務 .....	11
3. システム非機能要件 .....	12
3.1 性能要件 .....	12
3.2 情報セキュリティ要件 .....	12
4. 特記事項 .....	13
4.1 契約満了時の取扱 .....	13
4.2 権利関係 .....	13
4.3 再委託 .....	13
4.4 守秘義務 .....	14
4.5 その他 .....	14

## 1. 概要

### 1.1 件名

県立学校入学者選抜 WEB 出願システム構築

### 1.2 目的

沖縄県教育委員会（以下「県教委」という）は、次の 2 つの目的を達成するため、沖縄県立高校入学者選抜（以下「入学者選抜」という）において、インターネットを使った出願システム（以下「システム」という）を導入する。

(1) 従来の推薦入試の課題を解決するため特色選抜を導入するにあたり、以下の基本方針を実現する。

- ① インターネットを活用し志願者が自ら出願できる
- ② 令和 7 年度より導入される、特色選抜に対応できる
- ④ 連携型入学（本部高校、久米島高校）に関する出願ができる。
- ⑤ 志願者の情報を中学校、一般選抜高校、特色選抜高校、連携型選抜校、教育委員会事務局でデータ活用ができる。
- ⑥ 志願者及び保護者の利便性の向上を図るとともに、中学校及び高等学校の入学者選抜に係る事務負担を軽減する。

(2) 入学者選抜における特色選抜校と一般選抜校間の円滑なデータ連携のため、以下の基本方針を実現する。

- ① システムの志願者データを CSV ファイル等で入試情報管理システム(既存システム)と連携する。
- ② 一般選抜校で受検した学力検査の得点を特色選抜校と電子的に共有する。
- ③ 特色選抜校での合否結果を一般選抜校と電子的に共有する。

### 1.3 用語の定義

No	用語	定義	補足
1	システム	本仕様書に基づいて構築し、利用する「県立学校入学者選抜WEB出願システム」をいう	
2	県教委	システムの構築・運用業務を発注する沖縄県教育委員会をいう	
3	受託者	システムの構築・運用業務を受注する事業者をいう	
4	志願者	沖縄県立高校へ入学を希望し、志願書を提出する者をいう	
5	入試情報管理システム	高等学校内で利用される、高校入試に関する情報を処理する既存のシステムをいう	

## 1.4 業務スケジュール

受託者は、次のスケジュールを踏まえて、システム諸設定等の作業を完了すること。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
令和6年度	公告 プロポーザル		システム構築			運用テスト		実装・運用 ヘルプデスク				

## 1.5 業務の範囲

(1) 本仕様書に基づき、次の業務を実施すること。

- ① 県教委のシステム運用に関する技術支援
- ② システムの運用保守
- ③ システム利用者からのシステムの利用に関する各種問い合わせに対応するヘルプデスクの設置及び運営
- ④ 利用者からの指摘・要望事項の取りまとめ及び対策提案書の作成
- ⑤ 運用課題に関する県教委との協議
- ⑥ データ連携のため入試情報管理システム保守管理業者との協議

(2) 業務の対象範囲

① システム化対象範囲

- ア 志願者による特色選抜校及び一般選抜校、連携型選抜への出願
- イ 一般選抜校出願後の志願変更申し出及び志願取下げ再出願
- ウ 中学校による志願者データ等のダウンロード及び出願に関する帳票類の出力
- エ 特色選抜校と一般選抜校間での学力検査得点データおよび特色選抜合否データ交換

② 想定学校数

県立高等学校	59校
中学校	150校以上

※契約期間中に、学校数が増減することも想定に含めるものとする。

③ 想定利用者数

13,000人から14,000人

④ 利用者特性

本システムの利用者は、沖縄県に住む県立高校志願者である  
 沖縄県外から沖縄県立高校へ志願する者のデータは志願先県立学校で入力するものとする。

(3) 出願フロー図

基本の出願フロー図として以下を想定する。

※別紙1：出願フロー図参照

特色選抜については一般選抜の学力検査得点を利用して合否判定を行うこと、特色選抜での合格の場合は一般選抜の選考対象から除外することを、既存の入試情報管理システムとCSVファイルの入出力を介して連携して実現する。

## 1.6 業務内容・成果物

### (1) 業務内容

業務内容は以下のとおりである

No	業務	内容（詳細作業）
1	プロジェクト管理業務	・進捗、工程管理作業 ・課題管理作業、その他関連作業
2	要件確認および設計業務	・本システムの設計作業 ・運用を実現するための事務運用フロー、コード及びデータ連携に関する打合せ ・その他関連作業
3	開発業務	・機能詳細設計作業 ・ソフトウェア開発作業 ・利用者画面、管理者画面 ・各種帳票類
4	データ連携	・入試情報管理システムデータ連携打合せ ・試験データ取込みリハーサルと検証作業 ・データ取込み本番（段階的实施を含む。）
5	構築業務	・基本ソフトウェア製品の設定作業 ・ソフトウェアのインストール、設定作業
6	その他関連業務	・テスト作業 ・統合試験作業（実運用環境での試験） ・ネットワークに接続して実施 ・インターネットを介してのテストを実施 ・受入試験作業支援（システム利用者試験）
7	ヘルプデスク業務	・志願者からの問い合わせへの対応 ・高校からの問い合わせへの対応
8	ドキュメント整備	・システム運用マニュアルの整備 ・システム利用者マニュアルの整備 ・システム設計書等、成果物の整備
9	運用保守業務	・システムの運用支援 ・システムの保守業務

### (2) 定例報告

受託者は、プロジェクトの進捗状況や課題状況について、定期的に報告を行い、県教委の了解を得ること。

### (3) 成果物

本業務の成果物は以下のとおりである

No	成果物	内容
1	本システム	本システムの環境構築を行い利用可能な状態で提供を行うもの ・本システム一式
2	本システムデータ	本システムの環境構築に伴い必要となったデータ ・本システムに搭載する業務データ 一式 ・本システムを構成するハードウェア、ソフトウェアの設定データ 一式 ・上記データを格納した電子媒体 一式
3	各種ドキュメント類	本システムの環境構築に伴い作成した各種ドキュメント

#### (4) 事業実績報告書の提出

- ①10月末時点の事業実績報告（中途）を、県立学校教育課へ当該月の翌月までに提出すること。その他、委託者の求めに応じ随時提出すること。
- ②委託契約終了と同時に、県立学校教育課へ事業実績報告書を提出すること。
- ③経常経費は税抜き価格とし、別途消費税を併記して提出すること。その際、経常経費は、回数、単価、個数等、算出根拠が分かるように明記すること。

### 1.7 その他留意事項

#### (1) 使用料及び賃借料

ライセンス等、使用料及び賃借料については 2,994,000 円(消費税込)を上限に必要な数を別途契約予定であること。

#### (2) 検収期間

システム稼働時に、一定期間、本仕様書の要求基準をすべて満たしていることを確認するために、県教委による検収期間を設定すること。

#### (3) 瑕疵担保責任

- ①システムの瑕疵担保期間は、原則全面運用開始から1年間とする
- ②受託者はシステムを運用するうえで必要な情報の提供に努め、県教委からの障害発生時の情報開示請求などの問い合わせや助言要求に対して誠意をもって対応すること。

#### (4) 機密保持

受託者は、本業務の遂行上知りえた情報を第三者に漏らしてはならない。本契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

#### (5) 再委託について

受託者は、この契約の履行について、第三者に委託してはならない。ただし、県教委の承認を得たときはこの限りではない。

#### (6) 資料の提供等

受託者は、県教委に対して本業務遂行に必要な資料の供出・貸与を求めることができる。この場合、県教委は受託者と協議の上、本業務遂行に関して必要な資料を可能な限り、受託者に供出・貸与するものとする。

## 2. システム機能要件

### 2.1 機能要件

本システムは、大きく以下の機能から構成される。

機能分類	概要
入学志願書出願機能	県立高等学校入学者選抜試験において、志願者によるインターネットを利用した出願と、高等学校における出願データを既存の入試情報管理システムと連携させることができる。
志願者情報高校間共有機能	スムーズな合否判定のため、特色選抜校及び一般選抜校の間で、合格判定に係る学力検査得点情報と特色選抜合否情報をシステムで共有し、入試情報管理システムと連携する

### 2.2 機能一覧

本システムの各機能について示す。

#### (1) システム全般

- ①利用者のパソコンやスマートフォン、タブレット端末に特別な設定や専用プログラムの配布を必要としないWEB型のシステムであること。
- ②今後の機能拡張に柔軟に対応できること

#### (2) 基本機能

- ①志願者がシステムを介して志願情報を入力できること
- ②中学校、特色選抜校、一般選抜校、連携型選抜校、教育委員会が適切な情報を取得、閲覧できること
- ③システムと県立高校で利用されている入試情報管理システム間で相互にデータをインポート・エクスポートする連携を行うこと
- ④特色選抜校と一般選抜校の間で、特色選抜合否情報及び学力検査の得点を共有できること
- ⑤連携型選抜校と一般選抜校の間で、連携型選抜の合否情報を共有できること

### 2.3 出力帳票・データ要件

本システムでは以下の帳票及びデータの出力が可能であること

※別紙2：出力帳票一覧のとおり

### 2.4 各サイト共通要件

- (1)スマートフォン及びタブレットの場合、次のWEBブラウザの最新版で概ね正常表示及び利用が可能であること
  - ①iOS, iPad OS →Safari、Google Chrome
  - ②Android →Google Chrome
- (2)標準ブラウザで正常表示及び利用が可能であること。



- (3)パソコンの場合、次の OS と WEB ブラウザーの最新版で概ね正常表示及び利用が可能であること。
- ①Windows Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox
  - ②macOS Safari、Google Chrome、Mozilla Firefox
- (4)PDF ファイルは、Adobe Acrobat Reader で閲覧及び印刷可能であること。
- (5)サイトの利用期間を任意に設定できること。なお、選抜の出願期間において、当初出願期間、出願変更期間、最終出願期間、出願期間のような段階を設ける予定であるため、システム上対応可能であること。
- (6)出願期間中は、メンテナンスの時間を除き 24 時間利用できること。
- (7)システムの操作マニュアル及び Q&A 等は各サイトで閲覧できること。
- (8)受託者が登録したメンテナンス情報等の連絡事項を掲示することができること。
- (9)送受信される電子メールが各ドメインで迷惑メール判定されないよう設定すること。
- (10) 出願に関して、1 分当たり 500 件のアクセスに耐えられること。

## 2.5 志願者サイト要件

### (1)出願登録

- ①志願者は、一般選抜への出願登録を必須とし、さらに希望者は特色選抜への出願登録も可能とすること。
- ②県外の志願者は、県教委サイトにて許可を得た後に、出願登録を可能とすること。
- ③本部高校、久米島高校への志願者で、連携中学校からの受検者は連携型入学を選択できること。

### (2)志願者サイトの入力内容

- ①志願者氏名及びふりがな
- ②生年月日、年齢（年度末までに 15 歳に満たない生年月日を登録できないよう制御すること。）
- ③志願者現住所の郵便番号（7 桁の郵便番号を入力することで、郵政事業株式会社の郵便番号簿を基に、該当する住所が④の「都道府県・市町村・町字」欄に自動的に表示できること。）
- ④志願者住所
- ⑤保護者氏名及びふりがな
- ⑥保護者の志願者との続柄
- ⑦保護者現住所の郵便番号（③と同様に住所の自動表示ができること）
- ⑧保護者住所
- ⑨保護者電話番号
- ⑩出身中学校等名（次のような検索機能を有すること。）
  - ア 市町村を選択すると、当該所在地の中学校の一覧が表示されること。
  - イ アの一覧に志願者の中学校がない場合は、自由入力が可能であること。
- ⑪クラス名および出席番号
- ⑫⑩の卒業予定年月及び入学・転入学年月日（プルダウン又はカレンダーから選択）
- ⑬特色選抜志願先高等学校、過程、学科、コースをプルダウンで選択できること、選択の際は上位のカテゴリ（課程、学科又はコース）に属する値を抽出し表示できること。
- ⑭一般選抜志願先高等学校、課程、学科、コース（学科、コースは第 2 希望まで入力できること）

をプルダウンで選択できること、選択の際は上位のカテゴリに属する値（課程、学科又はコース）を抽出し表示できること。

⑮一般選抜校の普通科を選択した際には学区外のチェックボックスがアクティブ化すること

⑯電子メールアドレス

⑰各高校の一覧は、別紙３：県立高等学校一覧のとおりである。

⑱通学区域が広域にわたる高等学校への志願者（特別に指定する地域からの志願者含む）は、受検会場として、志願先高校のほか、一般選抜においては委託検査場又は出張検査場を選択することができるようにすること。

⑲システムの操作性など、アンケートとして登録回答を可能とすること。

⑳志願者氏名については常用漢字に置き換えて入力した文字の有無を選択できるようにすること。

㉑資格取得及び大会実績証明書等を PDF 又は JPEG で送信できること。

### (3) 出願登録後の操作

①志願者サイトにログインすることで出願情報を確認できること。

②システムから登録したメールアドレス宛に「登録完了通知」メールを自動送信できること。

③出願情報を表示した出願受付確認票 PDF ファイルを出力できること。

## 2.6 中学校サイト要件

### (1) 中学校 ID

受託者は、パスワード及び各中学校のメールアドレスを設定した中学校分の中学校 ID を発行すること。（対象中学校の一覧は別紙４：中学校一覧のとおり）

②パスワードは一定回数間違えたらロックされること。

③パスワード紛失又はロック解除のための仕組みを備えていること。

### (2) 中学校 ID の機能

①自校に在籍する志願者に係る出願状況を確認し、内容確認チェックフラグを設定できること。

②自校に在籍する志願者に係る出願情報を選抜種別、課程、学科、コース毎に個別及び一覧形式で表示できること。

③自校への志願者について、志願者による入力ミス、学区外チェック等に関する編集が可能であること

④自校に在籍する志願者に係る出願を承認できること。

⑤自校に在籍する志願者について、指定期間内にシステムで志願取り下げ及び再出願の申請ができること。

⑥自校に在籍する志願者に係る次の情報を電子データとしてダウンロードできること。

ア 入学志願者名簿（特色選抜、一般選抜）、連携型中高一貫教育に係る入学志願者名簿（連携型選抜）、志願変更願いを出願先毎に PDF ファイル及び CSV ファイル

イ 高等学校の発行した志願者の、顔写真票 PDF ファイル及び名札ファイル

## 2.7 高等学校サイト要件

### (1) 高等学校 ID

受託者は、パスワード及び各高等学校のメールアドレスを設定した高等学校分の高等学校 ID を発行すること。（対象高等学校の一覧は別紙 3：県立高等学校一覧のとおり）

## (2) 高等学校 ID の機能

- ① 自校への志願者に係る出願情報（中学校による内容確認フラグが未チェックのものも含む）を選抜日程、課程、学科、コース毎に個別及び一覧形式で表示し、編集できること
- ② 自校への特色選抜志願者に係る次の情報を電子データとしてダウンロードできること
  - ア 特色選抜志願者一覧 CSV ファイル
  - イ 特色選抜判定結果 PDF 及び CSV ファイル
- ③ 自校への一般選抜志願者に係る次の情報を電子データとしてダウンロードできること
  - ア 一般選抜初回志願者一覧データ CSV ファイル
  - イ 一般選抜最終志願変更者一覧 PDF および CSV ファイル
  - ウ 一般選抜最終志願者一覧 PDF および CSV ファイル
  - エ 一般選抜最終志願者報告書 PDF ファイル
  - オ 学力検査点データ CSV
- ④ 自校への連携型選抜志願者に係る次の情報を電子データとしてダウンロードできること
  - ア 連携型志願者一覧データ CSV ファイル
- ⑤ 出願登録が完了した志願者に対して、学校、受検種別、学科・コース毎に受検番号を自動で付番し、受検票 PDF ファイルの発行ができること。
- ⑥ 志願者宛に一斉メール送信ができること。メール送信時には氏名、志願先課程・学科・コース、出身中学校、調査書受理状況等により送信先を検索・指定できること。
- ⑦ 一般選抜校で実施された学力検査点について、入試情報管理システムより出力される CSV ファイルをシステムにインポートすることで、特色選抜校と共有できることが可能とすること。
- ⑧ 特色選抜校で実施された特色選抜判定結果について、入試情報管理システムより出力される CSV ファイルをシステムにインポートすることで、一般選抜校と共有できることが可能とすること。
- ⑨ 一般選抜校において実施された学力検査点について、特色選抜校の入試情報管理システムで活用するためのデータを CSV でエクスポートできること
- ⑩ 特色選抜校において実施された合否結果について、一般選抜校の入試情報管理システムで活用するためのデータを CSV でエクスポートできること
- ⑪ 自校への志願者のうち、委託検査場又は出張検査場において受検する者がいる場合は、検査場毎に志願者名簿、面接票を作成できるように、必要なデータを取得可能であること
- ⑫ 県外又は海外からの志願者について、一般選抜校にて出願状況の登録が可能となること

## 2.8 県教委サイト要件

### (1) 県教委 ID

受託者は、パスワード及び県教委担当課のメールアドレスを設定した県教委 ID を発行すること。

### (2) 県教委 ID の機能

- ① 各選抜の志願状況及び受検状況を閲覧できること。
- ② 次の情報を電子データとしてダウンロードできること

- ア 一般選抜初回志願状況の CSV ファイル
- イ 一般選抜志願者変更一覧の CSV ファイル
- ウ 一般選抜最終志願状況の CSV ファイル

## 2.9 ヘルプデスク業務

### (1)基本的な考え方

県教委及び学校からの問い合わせに対する技術サポートを行うとともに、システムの操作や運用等に関する学校からの電話及びメールでの問い合わせへの対応を行うヘルプデスクを設置すること。

### (2)ヘルプデスクの設置

対象	対応内容	期間
県教委	システム運用に係る技術的サポート、システム全般の問い合わせ	契約期間（日曜日、土曜日、祝日及び12月29日から翌年の1月4日までの日を除く。）の午前9時から午後5時まで。
志願者、中学校、高等学校	利用するサイトの操作方法等	契約期間のうち〇月～3月（日曜日、土曜日、祝日及び12月29日から翌年の1月4日までの日を除く。）の午前9時から午後5時まで。

### (3)システム利用方法等の説明資料の作成

県教委は、高等学校及び中学校等向けにシステムの利用方法等の説明資料を作成し、配布する予定であるため、資料作成のサポート等を行うこと。

### (4)定例の報告

県教委に対して、定期的に運用状況や問題点、課題及び対応状況等の報告を行うこと。

## 2.10 テスト要件

(1) システムの本格運用までに以下のテストを段階的に行い、都度、本県の承認を受けること。

- ・統合テスト（ネットワークへ接続後の試験）
- ・運用テスト（利用者を据えての試験）

(2) 本県が指定する期日までにテスト結果が記されたテスト結果報告書を作成し、提出すること。

(3) テストの実施方法、内容、実施時期などについて事前に提示すること。

## 2.11 保守業務

### (1)基本的な考え方

システムの運用に支障がないよう障害時に備えること

### (2)保守体制

- ①受託者は、システムの保守を円滑に遂行するための体制を整備すること
- ②受託者は、保守窓口担当を選任し、県教委へ届け出るとともに、調整窓口とすること

③受託者は、障害等が発生した際に、迅速かつ適切に対応できるように、連絡体制及び指揮命令系統を整備すること

### (3)保守業務内容

①ソフトウェア構成、コード情報・パラメータなどの設定情報及び各種マニュアル等のドキュメントを作成し、最新の状態で保持されるよう管理を行うこと、但し、ローコードツール等でコードの記述等がない場合はその限りではない。

②利用者からのシステムへの要望等について、取りまとめを行い、県教委と対応を協議すること

③実施したカスタマイズについては、その都度加筆修正し、常に最新のドキュメントを提供すること

④不具合修正依頼には速やかに応じること。その際、作業手順を明確にし、県教委の承認を得たうえで作業を行うこと。作業完了後は、完了報告書を速やかに提出すること

⑤システムの軽微な修正および例年生じる入試制度の変更（選抜日程、中学校及び高等学校の情報等）に伴う修正については、保守業務の範囲として対応すること

⑥システムの大幅な修正・改修が必要になった場合には、その経費の見積書を提出すること

### (4)障害発生時の対応

①障害発生時には、障害発生の原因が受託者の納品物であるのか、それ以外であるのかの判別作業を受託者において行うこと

②判別作業の結果、受託者の納品物に障害の原因があると判明した場合、速やかにシステム復旧作業を行い、県教委に報告すること

## 3. システム非機能要件

### 3.1 性能要件

本システムにおける処理性能

出願に関して、1分当たり500件のアクセスに耐えられること。

### 3.2 情報セキュリティ要件

#### (1) 権限設定

システムには、権限のない者による機密情報へのアクセスやデータの改ざんが行なわれないように、アクセス権限の設定ができること

#### (2) 情報セキュリティ対策

システムについて「沖縄県情報セキュリティポリシー」を確実に遵守すること

システムで取扱う情報資産は、個人情報を含むことを十分に考慮した設計開発を行うこと。

本委託業務に従事する者に対して個人情報保護の教育を行うこと。また、やむを得ずデータを外部に持ち出す場合、その手順等を県と協議してすること。

## 4. 特記事項

### 4.1 契約満了時の取扱

本契約を満了とする場合。当該年度終期において受託者は、次の作業を行うものとする。なお、本作業に係る経費は、すべて受託者の負担とする。

#### (1)レコード情報の消去

受託者は 30 日以内にレコード情報をすべて消去すること。

#### (2)業務完了報告書の提出

当該作業完了報告は、本契約業務完了報告書と併せて書面で提出すること。

### 4.2 権利関係

#### (1)納入物の所有権

本業務で納入する納入物の所有権は、当該納入物が納入されたときに、受託者から本県へ移転すること

#### (2)著作権

①本業務により作成される成果物の著作権は、受託者又は第三者が本件契約前から保有していた著作物の著作権および汎用的な利用が可能なプログラムの著作権を除き、県に帰属する。

②県は、成果物を自ら利用するために必要な範囲で複製及び翻案することができる。

③著作者人格権については、これを行使しないこと。

#### (2)秘密情報の保持

受託者は、本業務の履行に関し知りえた本県の秘密情報を第三者に漏らしてはならない

### 4.3 再委託

受託者は、本業務の全部または一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ本県の承諾を得た場合はこの限りではない

#### (1)一括再委託の禁止等

契約の全部の履行を一括又は分割して第三者に委任し、又は請け負わせることはできない。また、以下の業務（以下「契約の主たる部分」という）については、その履行を第三者に委任し、又は請け負わせることができない。

ただし、これにより難い特別な事情があるものとして、あらかじめ県が書面で認める場合は、これと異なる取り扱いをすることがある。

##### ○契約の主たる部分

- ・ 契約金額の 50%を超える業務
- ・ 企画判断、管理運営、指導監督、確認検査などの統括的かつ根本的な業務
- ・ 契約の相手方を指名又は選定した理由と不可分の関係にある業務

#### (2)再委託の相手方の制限

本契約の競争入札参加者であった者に契約の履行を委任し、又は請け負わせることはできない。

また、指名停止措置を受けている者、暴力団又は暴力団と密接な関係を有する者に契約の履行を委任し、又は請け負わせることはできない。

#### (3)再委託の承認

契約の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ書面による県の承認を得なければならない。

ただし、以下に定める「その他、簡易な業務」を第三者に委任し、又は請け負わせるときはこの限りではない。

○その他、簡易な業務

- ・資料の収集・整理
- ・複写・印刷・製本
- ・データの入力および集計

### 4.4 守秘義務

本業務従事により知りえた情報については、業務履行中・完了後に関わらず他に漏らしてはならず、守秘しなければならない。また、本業務を第三者に再委託することが認められた場合は、当該第三者も同様の義務を負うこと。

#### (1)秘密の保持

本業務の遂行上知りえた秘密を他者に漏らしてはならない。また、成果物（業務の過程で得られた記録等も含む。）を本県の許可なく第三者に閲覧、複写、貸与又は譲渡してはならない。

#### (2)資料・データの取り扱い

本業務の遂行のために本県が提供した資料、データ等は本業務以外の目的で使用してはならない。

#### (3)個人情報の取り扱い

受託者は、本業務の実施に当たっては、沖縄県個人情報保護法に定めるもののほか、個人情報の保護に関する本県の施策に留意しつつ、本業務に係る個人情報の保護について最新の注意を払い処理すること。

### 4.5 その他

本業務を遂行するに当たり、関係法令等を遵守して実施すること。

その他本仕様書に明記されていない事項又は解釈に疑義のある事項については、本県と協議すること。